



## 2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉藤 政基 (TEL) 03-3472-7890  
 定時株主総会開催予定日 2023年12月22日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期の連結業績(2022年10月1日～2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	20,443	18.3	869	36.9	972	57.7	475	△7.1
2022年9月期	17,280	22.3	635	78.8	616	59.0	511	146.6

(注) 包括利益 2023年9月期 452百万円(△48.2%) 2022年9月期 872百万円(180.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	35.99	—	7.9	6.5	4.3
2022年9月期	38.75	—	9.3	4.3	3.7

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 一百万円 2022年9月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	15,197	6,300	40.8	469.85
2022年9月期	14,757	5,980	39.9	445.97

(参考) 自己資本 2023年9月期 6,206百万円 2022年9月期 5,891百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	32	△88	△85	4,088
2022年9月期	331	895	△734	4,233

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00	132	25.8	2.4
2023年9月期	—	5.00	—	12.00	17.00	224	47.2	3.7
2024年9月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		36.7	

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	21,000	2.7	1,000	15.0	990	1.8	720	51.4	54.51

(注) 年次で業績を管理しているため、通期業績予想のみ開示いたします

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	13,410,000株	2022年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期	200,227株	2022年9月期	200,227株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	13,209,773株	2022年9月期	13,209,807株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	19,265	18.7	867	26.2	1,045	43.6	692	12.9
2022年9月期	16,226	29.2	687	193.2	727	42.4	613	53.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期	52.43	—
2022年9月期	46.42	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	14,986	6,626	44.2	501.66
2022年9月期	14,430	6,143	42.6	465.06

(参考) 自己資本 2023年9月期 6,626百万円 2022年9月期 6,143百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年10月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界的な金融引き締めや中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れによる影響や、資源価格の上昇や為替の円安傾向、金融資本市場の変動も懸念され先行きは不透明な状況が続いています。

当連結会計年度の売上高は、アフターコロナの緩やかな景気回復により当社商品のメインユーザーである若年層の女性の外出機会が増えたことや前期から戦略的に進めてきた重点販売先に対する営業強化が奏功したことを受けて、対前期比18.3%増の20,443,768千円と大幅な増加となりました。仕入れ商品を圧縮し自社企画商品に切り替えたことで自社企画商品売上高は17,048,235千円(対前期比25.2%増)と大幅に増加し、構成比については83.4%と前期の78.8%から4.6ポイント上昇しております。売上総利益額は5,369,703千円で対前期比11.8%増となりましたが、返品リスクがない一方で粗利益率が低いOEM商品の割合が増加したことや年度後半にかけて為替が大幅に円安傾向となり売上原価が上昇したことなどを受けて、同利益率は26.3%と対前期比1.5ポイント減少しました。販売費及び一般管理費は、売上高の増加に伴い物流費などが増加したことと業績好調に伴い従業員向けインセンティブの増加を主因として対前期比7.9%増の4,500,381千円となりました。営業利益は対前期比36.9%増の869,322千円、経常利益は対前期比57.7%増の972,040千円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、中国事業を縮小したことに伴う特別損失を109,333千円計上したことにより475,435千円(対前期比7.1%減)となりました。

当社グループの事業セグメントは、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

#### ① 化粧品・化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、均一ショップ向けを中心に重点販売先からの化粧品受注が大幅に増加したことを受けて14,355,201千円(対前期比20.8%増)となりました。

#### ② コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、業態や地域によってばらつきがあったものの、全体としては2,535,670千円(対前期比0.6%増)の微増となりました。

#### ③ 服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、重点販売先からの受注が増えたことに加えて大手テーマパークの営業が正常化したこともありキャラクターをあしらったバッグ、ポーチ、小物やアクセサリなどが好調に推移し、2,514,631千円(対前期比28.1%増)となりました。

#### ④ その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当連結会計年度の売上高は、重点販売先に提案した車のサンシェードや簡易型のテント、クール用品などシーズン商材が伸びたこともあり1,038,264千円(対前期比13.4%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて439,458千円増加し、15,197,409千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて519,880千円増加し、12,003,540千円となりました。

これは主に、売掛金が231,375千円、商品及び製品が348,090千円、その他が148,818千円増加したことに対し、現金及び預金が282,323千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて80,421千円減少し、3,193,868千円となりました。

これは主に、投資有価証券が37,065千円、退職給付に係る資産が14,620千円増加したことに対し、建物及び構築物が112,292千円、のれんが28,809千円減少したこと等によるものであります。

### (負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて119,453千円増加し、8,897,265千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて785,342千円増加し、5,816,077千円となりました。

これは主に、短期借入金が800,000千円、未払法人税等が197,615千円、その他が169,518千円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が219,454千円、1年内返済予定の長期借入金が188,000千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて665,888千円減少し、3,081,188千円となりました。

これは主に、長期借入金が564,000千円、繰延税金負債が89,606千円減少したこと等によるものであります。

### (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて320,005千円増加し、6,300,143千円となりました。

これは主に、利益剰余金が343,337千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は144,725千円減少し、4,088,562千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、32,161千円（対前期比90.3%減）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益を862,706千円計上するとともに、減価償却費192,750千円、のれん償却額28,809千円、賞与引当金の増加19,443千円、事業整理損109,333千円、その他41,929千円があったこと、売上債権の増加△278,588千円、棚卸資産の増加△433,227千円、仕入債務の減少△207,896千円、法人税等の支払額△298,925千円があったこと等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、88,923千円（前年同期は895,313千円の収入）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出△76,768千円があったこと等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、85,576千円（対前期比88.3%減）となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額800,000千円、長期借入れによる収入1,200,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△1,952,000千円、配当金の支払額△132,201千円があったこと等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
自己資本比率 (%)	40.3	38.3	36.6	39.9	40.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	39.6	39.5	40.2	36.7	42.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	12.2	10.6	9.6	15.6	162.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	16.2	23.5	22.8	14.2	1.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうちの利子を支払っているすべての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

当社では、収益性の向上という観点から選択と集中を進めてまいりましたが、今後は、「真のメーカー」の立場で「この商品であれば粧美堂」と言われるような定番的商品ラインアップの構築を目指した選択と集中を推進してまいります。

当社はディスカウントストア、ドラッグストア、バラエティストア、総合スーパー等の幅広い業態の小売業の中でもトップクラスの企業と取引があり、こうした企業との取引に一層注力することによる成長を展望すると同時に、各社から還元を受けたPOSデータや店頭での情報を、速やかに社内の商品企画セクションに還元し、商品化をスピードアップするという取り組みを行っております。また現場力を最大限に活かすために、現場のマネージャークラスに権限を大幅に委譲し意思決定プロセスを簡素化すると同時に、ITインフラを整備したことで従来以上に社内外の情報の共有化と業務スピードの迅速化に努めています。

また、上記のような小売業のトップクラスの企業は、いずれもPB商品の拡充を経営課題と掲げていることもあり、当社が永年培ってきた化粧品・化粧雑貨などの分野における知見を活かし、主要な重点販売先に商品企画段階から当社社員が提案を繰り返し、魅力ある商品・売り場づくりのお手伝いをすることで、重点販売先と歩調を合わせた成長を目指してまいります。

当社は、世界中の多様な個人の「心と体の美と健康をサポート」することを使命に掲げ、小さな市場で大きなシェアを持つ、ニッチ市場のNo.1メーカーの集合体を目指すことを今後の目標と定め、ネイルケア、メイクアップ、キッズ向け商品のカテゴリーに焦点を定め経営資源を投入してまいります。また長年に亘るキャラクタービジネスで培った有力ライセンスとの紐帯を一層強化し、当社が企画する商品と組み合わせることで他社商品との差別化を推進してまいります。

また、当社グループでは消費のEC化の進展を見据えて、数年前からEC事業の強化やSNSを通じた情報発信を行い「消費者と直接繋がる」取り組みを進めてまいりました。多様な市場情報の収集、自社メディアからの情報発信力の強化、従来はコンタクトレンズ中心だった取扱品目に当社の強みである化粧品・化粧雑貨などを加えることでEC事業の一層の拡大を進めてまいります。

当社グループでは、総仕入額のうち41.1%を海外から外貨建てで仕入れており、その93.2%は米国ドル建ての決済です。米国ドル建て決済見込み額の約50%程度を目安として為替予約を実施しておりますが、足許の円安基調は当社業績に大きな影響を及ぼします。これに対し当社では、販売先に対する商品価格への転嫁の要請、ゼロベースでの商品仕入先メーカーの見直し、外貨調達手法の一層の高度化など多岐にわたる方策を検討・実践しております。

以上を踏まえ、通期の連結業績見通しについては、売上高21,000,000千円（対前期比2.7%増）、営業利益1,000,000千円（対前期比15.0%増）、経常利益990,000千円（対前期比1.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益720,000千円（対前期比51.4%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,541,749	5,259,425
受取手形	307,427	358,889
売掛金	3,228,457	3,459,833
商品及び製品	1,389,679	1,737,770
原材料及び貯蔵品	163,280	207,130
為替予約	660,040	643,229
その他	194,325	343,144
貸倒引当金	△1,300	△5,881
流動資産合計	11,483,660	12,003,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,058,943	946,651
土地	1,307,893	1,307,893
その他（純額）	93,109	91,918
有形固定資産合計	2,459,946	2,346,463
無形固定資産		
のれん	230,472	201,663
その他	31,500	26,822
無形固定資産合計	261,972	228,485
投資その他の資産		
投資有価証券	188,867	225,933
退職給付に係る資産	179,035	193,655
その他	187,287	199,837
貸倒引当金	△2,819	△505
投資その他の資産合計	552,370	618,920
固定資産合計	3,274,290	3,193,868
資産合計	14,757,950	15,197,409



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043,687	1,824,233
短期借入金	100,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,812,000	1,624,000
未払法人税等	201,180	398,795
契約負債	9,882	16,102
賞与引当金	133,857	153,300
その他	730,128	899,646
流動負債合計	5,030,735	5,816,077
固定負債		
長期借入金	3,267,500	2,703,500
繰延税金負債	248,471	158,864
役員退職慰労引当金	115,650	127,950
資産除去債務	70,717	71,275
その他	44,737	19,597
固定負債合計	3,747,076	3,081,188
負債合計	8,777,811	8,897,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,549,231	4,892,569
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	5,277,972	5,621,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,535	69,847
繰延ヘッジ損益	436,744	395,607
為替換算調整勘定	131,899	119,818
その他の包括利益累計額合計	613,178	585,273
非支配株主持分	88,987	93,560
純資産合計	5,980,138	6,300,143
負債純資産合計	14,757,950	15,197,409

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,280,493	20,443,768
売上原価	12,476,258	15,074,064
売上総利益	4,804,235	5,369,703
販売費及び一般管理費		
販売促進費	508,397	502,561
物流費	839,711	1,002,465
貸倒引当金繰入額	431	4,571
給料手当及び賞与	1,174,592	1,219,719
賞与引当金繰入額	127,380	145,100
退職給付費用	17,938	14,941
役員退職慰労引当金繰入額	10,600	12,300
その他	1,490,167	1,598,721
販売費及び一般管理費合計	4,169,219	4,500,381
営業利益	635,015	869,322
営業外収益		
受取利息	11,210	20,169
受取配当金	4,336	4,518
受取手数料	7,184	7,850
不動産賃貸収入	43,240	10,593
為替差益	—	87,068
その他	3,115	13,378
営業外収益合計	69,087	143,578
営業外費用		
支払利息	22,508	25,929
不動産賃貸費用	37,043	2,681
事業所閉鎖損失	19,612	—
賃貸借契約解約損	—	6,520
為替差損	5,092	—
その他	3,534	5,728
営業外費用合計	87,791	40,860
経常利益	616,311	972,040
特別利益		
固定資産売却益	192,199	—
特別利益合計	192,199	—
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	29,881	—
事業整理損	—	109,333
特別損失合計	29,881	109,333
税金等調整前当期純利益	778,629	862,706
法人税、住民税及び事業税	208,520	491,548
法人税等調整額	84,982	△110,708
法人税等合計	293,502	380,839
当期純利益	485,127	481,866
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△26,724	6,431
親会社株主に帰属する当期純利益	511,852	475,435

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	485,127	481,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,443	25,312
繰延ヘッジ損益	323,164	△41,137
為替換算調整勘定	77,129	△13,939
その他の包括利益合計	387,850	△29,764
包括利益	872,978	452,102
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	883,818	447,530
非支配株主に係る包括利益	△10,840	4,572

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,500	264,313	4,169,477	△81,051	4,898,238
当期変動額					
剰余金の配当			△132,098		△132,098
親会社株主に帰属する当期純利益			511,852		511,852
自己株式の取得				△20	△20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	379,753	△20	379,733
当期末残高	545,500	264,313	4,549,231	△81,071	5,277,972

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	56,978	113,579	70,654	241,212	99,827	5,239,278
当期変動額						
剰余金の配当						△132,098
親会社株主に帰属する当期純利益						511,852
自己株式の取得						△20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,443	323,164	61,244	371,966	△10,840	361,125
当期変動額合計	△12,443	323,164	61,244	371,966	△10,840	740,859
当期末残高	44,535	436,744	131,899	613,178	88,987	5,980,138

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,500	264,313	4,549,231	△81,071	5,277,972
当期変動額					
剰余金の配当			△132,097		△132,097
親会社株主に帰属する当期純利益			475,435		475,435
自己株式の取得				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	343,337	—	343,337
当期末残高	545,500	264,313	4,892,569	△81,071	5,621,310

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	44,535	436,744	131,899	613,178	88,987	5,980,138
当期変動額						
剰余金の配当						△132,097
親会社株主に帰属する当期純利益						475,435
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,312	△41,137	△12,080	△27,905	4,572	△23,332
当期変動額合計	25,312	△41,137	△12,080	△27,905	4,572	320,005
当期末残高	69,847	395,607	119,818	585,273	93,560	6,300,143

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	778,629	862,706
減価償却費	206,576	192,750
のれん償却額	28,809	28,809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	103	2,267
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,170	19,443
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,600	12,300
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△12,474	△14,620
受取利息及び受取配当金	△15,547	△24,687
支払利息	22,508	25,929
固定資産売却益	△192,199	—
ゴルフ会員権評価損	29,881	—
事業整理損	—	109,333
売上債権の増減額 (△は増加)	△529,315	△278,588
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△234,861	△433,227
未収入金の増減額 (△は増加)	6,489	△12,267
その他流動資産の増減額 (△は増加)	30,135	△935
仕入債務の増減額 (△は減少)	211,794	△207,896
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82,132	13,606
その他	97,238	41,929
小計	351,066	336,852
利息及び配当金の受取額	15,743	20,378
利息の支払額	△23,405	△28,267
法人税等の支払額	△68,771	△298,925
法人税等の還付額	57,094	2,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,727	32,161
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3,855	△5,089
有形固定資産の取得による支出	△117,611	△76,768
有形固定資産の売却による収入	550,020	—
無形固定資産の取得による支出	△9,229	△2,880
投資有価証券の償還による収入	500,000	—
ゴルフ会員権の売却による収入	27,618	—
その他	△51,627	△4,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	895,313	△88,923
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	800,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△2,101,000	△1,952,000
自己株式の取得による支出	△20	—
配当金の支払額	△132,123	△132,201
その他	△1,356	△1,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△734,500	△85,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,777	△2,386
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	523,317	△144,725
現金及び現金同等物の期首残高	3,709,970	4,233,287
現金及び現金同等物の期末残高	4,233,287	4,088,562

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループは、化粧品・化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品を小売業者、卸売業者等へ販売しております。取扱い商品は多種多様ですが、商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとすることが、過去の業績を理解し、将来キャッシュ・フローの予測を適切に評価でき、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報提供につながると判断できるため、単一の報告セグメントとしております。

この報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

当社グループは、報告セグメントが単一であるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	化粧品・化粧雑貨	コンタクトレンズ 関連	服飾雑貨	その他	合計
外部顧客への売上高	11,879,837	2,521,679	1,963,728	915,248	17,280,493

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社PALTAC (注) 2	1,928,263	—
株式会社セリア	1,821,799	—
株式会社しまむら	1,759,674	—

(注) 1. 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

2. 株式会社PALTACへ販売した商品は、主に株式会社大創産業へ卸され、ダイソー店舗等にて一般消費者へ販売されております。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1. 商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	化粧品・化粧雑貨	コンタクトレンズ 関連	服飾雑貨	その他	合計
外部顧客への売上高	14,355,201	2,535,670	2,514,631	1,038,264	20,443,768

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社PALTAC (注) 2	2,948,185	—
株式会社セリア	2,271,560	—
株式会社しまむら	2,139,506	—

(注) 1. 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

2. 株式会社PALTACへ販売した商品は、主に株式会社大創産業へ卸され、ダイソー店舗等にて一般消費者へ販売されております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

のれんの償却額は28,809千円、未償却残高は230,472千円であります。

当社グループの報告セグメントは単一であるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

のれんの償却額は28,809千円、未償却残高は201,663千円であります。

当社グループの報告セグメントは単一であるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	445.97円	469.85円
1株当たり当期純利益	38.75円	35.99円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	511,852	475,435
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	511,852	475,435
普通株式の期中平均株式数(株)	13,209,807	13,209,773

## (重要な後発事象)

## 事業分離

## (子会社持分の譲渡)

当社の連結子会社である粧美堂日用品(上海)有限公司(以下「上海粧美堂」)は、2023年10月11日開催の取締役会において、上海粧美堂の子会社(当社の孫会社)である壹見健康科技(上海)有限公司(以下「壹見」)の持分の一部を譲渡することを決議し、2023年10月12日に杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏と出資持分譲渡契約を締結いたしました。なお、本件譲渡に伴い、壹見は当社の連結子会社から除外されることとなります。

## 1. 事業分離の概要

## (1) 分離先企業の名称

杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏

## (2) 分離する事業の内容

コンタクトレンズの製造及び販売

## (3) 事業分離を行う主な理由

当社は、2019年4月に中国市場拡大を目的として、上海に壹見健康科技(上海)有限公司を設立いたしました。中国の天猫に旗艦店を出店し、B to CのECサイトでコンタクトレンズの販売拡大を図ってまいりましたが、昨今の価格競争の激化、さらには世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上海粧美堂が保有する壹見の持分51%のうち、41%を杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏に譲渡することに決定いたしました。

本件持分の譲渡により、経営資源の選択と集中を図ることで、当社グループの企業価値を更に高められるものと考えております。

## (4) 譲渡価額及び譲渡損益

譲渡価額 6,480千人民元(約129百万円)

譲渡損益は算定中であり現時点で確定しておりません。

## (5) 事業分離日

2023年12月29日(予定)

## (6) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする持分譲渡

2. 会計処理の概要

「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 2013年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、処理をする予定であります。

3. 分離する事業が含まれている報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. 当連結会計年度の連結損益計算書に計上されている分離する事業に係る損益の概算額

売上高	435,138 千円
営業利益	27,399 千円